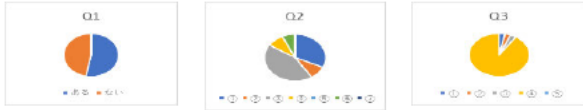


K-4 地球温暖化対策 ～消費電力を減らすための考案(自宅にいる若者対象編)～

テーマ選定理由

地球温暖化の原因であるCO2は電気(電力)から多く排出される
→消費電力削減が根本的解決&若者の節電行動率低下に注目

現状調査結果

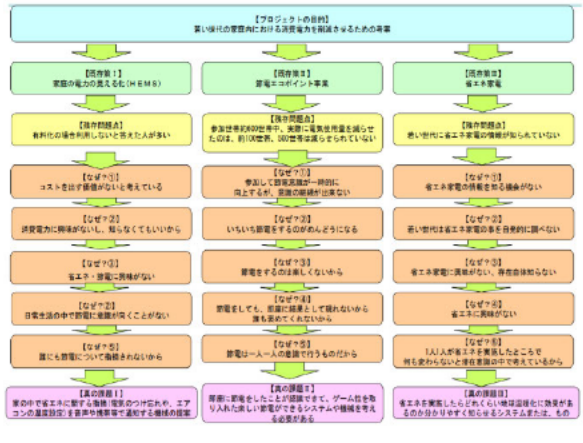


- Q1:地球温暖化に興味があるか
Q2:地球温暖化について取り組んでいることは
Q3:金沢市の温暖化対策を認知しているか
- ・約半数の人が地球温暖化に興味がない
 - ・節電に2/3の人取り組んでいない現状→意識低
 - ・金沢市の地球温暖化対策の認知度が非常に低い

前提条件

対象 : 金沢市に住む学生
年代 : 大学1年生から4年生
(18歳から23歳)
期間 : 1ヶ月間

残像問題点の原因と真の課題



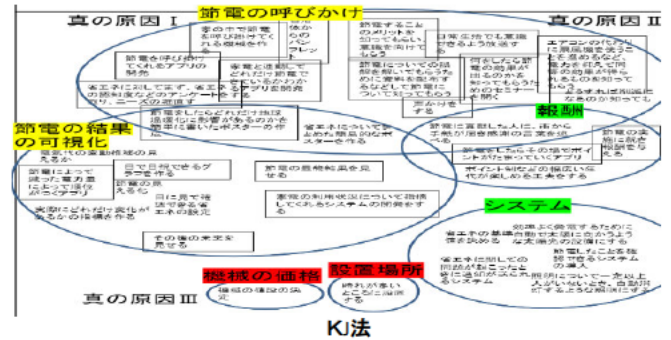
既存策と残像問題点・現状値

- 既存策1** 家庭の電力の見える化(HEMS)
残像問題点 有料化の場合利用しないと答えた人が多い
- 既存策2** 節電エコポイント事業
残像問題点 参加世帯約600世帯中、実際に電気使用量を減らせたのは、約100世帯、500世帯は減らせられていない
- 既存策3** 省エネ家電
残像問題点 若者に省エネ家電が知られていない

目標値

- ・サンプルとして金沢工業大学学生30人にアンケート
- ①冷房を1度高く、暖房を1度低く設定する人の割合
現状値: 5割→目標値: 6.5割
- ②外出時や部屋を離れる時に照明を消す人の割合
現状値: 7割→目標値: 8割
- ③冷蔵庫の設定温度を中・強から弱にする人の割合
現状値: 1割→目標値: 3割

課題解決のためのアイデア創出



ニーズ

- ・省エネルギーの推進
- ・若者世代への啓発方法など
- ・温室効果ガスの削減に向けた施策の提案



創出したアイデア

表示されるもの・機能
残電気消費量
使用中電力量
電気代の確認
省エネの通知機能
・テレビがついたままです
・照明がついたままです
などの通知

長所
・成果を可視化できる
・電力使用量の把握ができる。
・節電意識の維持につながる

短所
・アプリを入れていないと効果がない
・莫大な費用がかかる
・家電と連携させる必要

活動まとめ

節電に関する指摘、電力の可視化を日常的にする事で節電行動率が向上すると考えられる。

2020年度プロジェクトデザインⅡ
クラス・チーム: チームⅣ班
2EL1